

・達成する目標

(1) 特定健康診査の実施にかかる目標

平成24年度目標 ... 国民健康保険加入者の特定健康診査の受診率を65%にする。特に40～64歳までの若い年齢層の受診率を高める。

(単位:人)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
対象者数(40～64歳)	2,723	2,693	2,663	2,634	2,605
対象者数(65～74歳)	1,522	1,469	1,471	1,446	1,421
全対象者数(40～74歳)	4,245	4,189	4,134	4,080	4,026
目標実施率	40%	50%	55%	60%	65%
目標実施者数	1,698	2,095	2,274	2,448	2,617

(2) 特定保健指導の実施にかかる目標

平成24年度目標 ... 動機づけ支援・積極的支援の指導実施率を45%にする。特に40～64歳までの実施率を高める。

特定健康診査の結果に基づき、保健指導を「情報提供」「動機づけ支援」「積極的支援」に区分し、対象者が自ら生活習慣を見直し、健康的な生活へ行動変容できるよう支援する。

(単位:人)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
対象者数(40～64歳)	207	256	278	300	321
(内 動機づけ支援)	60	74	80	87	93
(内 積極的支援)	147	182	198	213	228
対象者数(65～74歳)	81	98	108	116	123
動機づけ支援のみ	81	98	108	116	123
全対象者数(40～74歳)	288	354	386	416	444
目標実施率	30%	35%	40%	40%	45%
目標実施者数	87	124	155	167	200
(内 動機づけ支援)	53	74	94	101	120
(内 積極的支援)	34	50	61	66	80

*平成19年度の健診結果から対象者数を見込む。

(3) 特定健康診査等の実施にかかる成果目標

平成24年度において平成20年度と比較して、メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍を10パーセント減少する。

「情報提供」の対象者の目標

- ・ 健診結果を正常範囲のまま維持し、動機づけ等へ悪化させないために結果説明会等で生活習慣改善に関する情報提供を行う。

「動機づけ支援」の対象者の目標

- ・ 健診結果を正常範囲に改善、また悪化させないために生活習慣を見直し、行動変容や自己管理ができるように支援する。
- ・ 内臓脂肪症候群では腹囲を減少させる

「積極的支援」の対象者の目標

- ・ 健診結果を改善させ、動機づけ支援や正常範囲に移行できるよう自らが生活習慣を見直し、目標達成できるように支援する。
- ・ 内臓脂肪症候群では腹囲、体重の減量、危険因子の減少を目指す。